

「戦後80年とユネスコ憲章80年：国際知的協力の可能性と日本外交」

2025 年3月 11 日

ユネスコ日本政府代表部特命全権大使 加納雄大

1. ユネスコと日本

○WW I 後：国際知的協力の系譜（国際連盟、国際知的協力委員会／機関）

○WW II 後：ユネスコ憲章（1945 年）

「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなくてはならない」

日本は独立回復前に加盟申請（1950 年）、正式加盟（1951 年）

○冷戦、南北問題、文化財保護（アンコール等）、「歴史戦」、パレスチナ、ウクライナ…

2. ユネスコの特徴と、ポスト「ポスト冷戦」期における可能性

○ 個人資格参加の名残り、コンセンサス重視の文化

○ ソフト・パワー競争の場（中、米、欧、アジア、アラブ、アフリカ）、グローバル・サウス諸国の拠り所
→「政治・安全保障」、「経済・開発」に並ぶ「知的協力」の重要性

（ハード・パワーvs ソフト・パワー、「衣食足りて礼節を知る」vs「人はパンのみにて生きるにあらず」）

3. 2024 年の活動実績

○世界遺産、無形文化遺産…「佐渡島の金山」及び「伝統的酒造り」の登録

○教育…ESD推進（執行委におけるイベント開催）、高等教育世界規約の履行推進

○科学技術…防災協力の更なる強化の関する執行委員会決議採択

○危機的な状況の支援…ウクライナ、ガザ、レバノン、アフガニスタンにおける国際協力

4. 2025 年の展望、注目点

○ユネスコ憲章採択 80 周年、日本のユネスコ加盟 75 周年（2025/2026）

○米国新政権の動向

○ユネスコ事務局長選挙

○第 43 回ユネスコ総会（ウズベキスタン/サマルカンド開催）

○地域情勢（ウクライナ、中東）の行方

○OTICADIX

5. 終わりに

（参考）ユネスコ日本政府代表部ホームページ

https://www.unesco.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html